

石原範士胸像建立 寄付金の御礼

て申 芳ち岡き俣こて代
しび ごもをでをるにに
ま喜 いを像が姿す書札
れお かげ胸とおと文御
かとお 温かのこの礎。掌
おと からお土る日のたが合
にこの かの範すし展しす
方の 方財原立り発まま。
様祥 様浄石建在・いじす。
皆清 皆の度にの及合存ま
候、ご 候すす。その側生普いはき
のまます。般、この南先の誓と頂
のまます。館。界く礼て
春す 春すげて賜て道た道固失せ
早ま 早ま上さをし武し剣を変さ
はし 志ま山まびと大え



〒七〇〇一〇八二六
岡山市北区磨屋町一―一

会長

山本晋一郎

副会長

石岡立之

藤田長久

佐藤四十一

田中早苗

TEL 〇八六一―三三五一―三三二五五

専務理事